

風光



「優全さくら分会の解雇撤回闘争 経過とその闘いを終えて」

突然の退職強要

昨年の暮れも押し迫った12月19日のことです。優全さくら保育園の職員二名が理事長から退職強要を強いられるとの相談が地本に入り、同じ名東・千種支部の仲間として「是非協力を」という連絡が届きました。その理由のどれをとっても不当としか言いようのない中身で、保育上ありうる小さな怪我やミスを全て本人の自己責任に擦り付けて、気に入らない職員の退職を強要するものです。しかし「大好きな保育の仕事はやめたくない」とその場で分会結成を決定した、田中さんと森さんの姿にこの問題は二人だけの問題ではないと、支部としてもみんなですべての支援の決意を固めました。

粘り強い闘い

毎回の回交は地本がリーダーシップを発揮しながら、また裁判も視野に入れたからの闘いだっただけで弁護士さん達の支援も受けながら進めてきました。田中さんの解雇理由に挙げられている、事実と食い違つ全く理不尽

経過とその闘いを終えて

な言い分、森さんの雇用契約書の一方的な理事長の破棄問題、園の保護者や職員に対する財政状況の非公開、就業規則の書き換えの誤った手続きなど様々な問題も出てきました。さすがに組合側の攻勢に理事長も回交の場で問題点について改善するなどの約束をする場面もありました。翌日には平気でその約束を反故にするなど信じられない横暴が目立ちました。ついに3月11日の4回目の回交で、組合側も最後の切り札として、社会的な手段に訴えてでも解雇は撤回させるという揺さぶりをかけました。しかし交渉は決裂。残すは裁判か、労働審判かということになりました。

ここでの田中さんと森さんの苦悩は本当に大きなものがありました。やはり長い年月のかかる裁判になると本人たちの決意が一番重要になってくるからです。また、重なる理事長の不当労働行為にそこまでして復帰する価値のある職場なのか



勝利!!和解へ

しかし、ここで大きな朗報が飛び込んできました。弁護士さん達の力添えもあり、事態は一気に好転。「解雇は撤回。自主退職。退職金にプラス和解金が三ヶ月出る」ことになりました。本人達と組合側の粘り強い勝利への意思と団結が「勝った！」瞬間でした。

今、森さんは新しい職場で生き生きと保育をしています。田中さんはすっきりした気分で、家庭で心と体を癒しています。そして私達支部の仲間も、今回の闘争を支援する中で組合があるからこそ人と人がつながって仲間を大切に出来るし、その仲間と「団結」し、不当なことに立ち向かっていけるということをあらためて学びました。

名東・千種支部 支部長
 どんぐり分会 岡田紀久子

風の音

先日引越して伴って物を整理したのですが、アルバムが大量に出てきました。子どものときから第一子ということもあり多かったです。高校で力メうにはまり、学校に持っていった友だちと撮っていました。文化祭、体罰祭、修学旅行など友だちと一緒に写っているものが多いです。

大学になると旅行が好きになり、人物だけでなく、景色も撮るようになり、まだまだたくさん印刷してはアルバムに入れていました。社会人になった今も多少は減ったものの、桜やチューリップなど季節ごとの花を見に出かけることが多くなり、その出かけた先でよく撮っています。

アルバムは全部合わせて軽く20冊くらいにはなると思っていますが、見返す度に懐かしさと共に、あの時はこんなだったな...と思いついていきます。

写真が好きというよりも、その写真を見ながらいろいろなことを懐かしんだり、友人とわいわい話をするのが好きですね。小学校の友人とはもう20年もの付き合い。みんな大人になっただけで、なあと思うと今でも変わらない関係でいられることをうれしく思っています。

遠い場所にいる人もいますが、会ったときにはその時の思い出話を話さかせながら、笑い話をするのが本当に楽しい時間ですね。その時言えなかったことも今なら言えるので、またその時以上の関係を築いていけます。なかなか会えない人もいますが、小まめに連絡を取って今の関係を大切にしていきたいですね。

ひまわり

刈谷くぐり
分会

私たちの分会は民間の保育園で、保育士、調理士、看護師合わせ、現在20名の分会員がいます。

この3月に、理事会に対し要求書を出し、回交を持ちました。10年ぶりの取り組みです。

なぜ、この間行わなかったといえは、様々な理由がありますが、要求を出さないことで、自分の思いが不消化で過ぎていました。そんな気持ちの中、昨年の組合学校に参加して、「何でも話し合うことの大切さ」に改めて気づきました。そして、分会全体でも、4役でも何回か話し合いました。苦しい思いも切ない思いも話すことで、互いの状況も理解でき、ぐちで終わるのではなく、ではどうしたらよいか・と前向きに考えられるようになりました。

この春には、いままで加入を誘っても「組合があってもなにも変わらない・」と断られていた人が「根負けした」といって加入してくれました。この言葉の陰ではきっと力を合わせて自分達の職場をよくしようとす

る組合の姿を感じ取ってくれたのではないかとおもいます。

現在、祝日保育の時間延長について、臨時職員の待遇についてなどまだまだ課題は山積みです。理事会との感情のもつれも全部は消えてはいません。でも、互いの立場も理解しつつひとつひとつ、話し合って実現できるようにしていきたいと思っています。仲間と力をあわせて・

分会長 岩崎八十子

のきくたか

私の分会では、春闘要求の一つに『現在ボランティアとされている、「プール組み立て」「プールの片付け」「運動会準備」「分園のプール組み立て・片付け」を業務として認め、5000円を支給してください』というのを掲げています。(主任・園長を含めて、職員がどれかに振り分けられたものを職員会議で確認する)

要求書に対する回答は、「「プール組み立て」「プール片付け」「運動会準備」は、開園以来親とともに行ってきたものです。今後主体的な活動として関わっていただくことをおねがいします。」というものでした。

回答を受けて、分会では「保

育計画に位置づくものであって、明らかに業務でしょう!」「トヨタのQCサークルのように、強制的なボランティアだ(ぶつこう、ボランティアなら欠席することもあるが、これはできない)」「職員会議で、それに向けた準備や段取りを報告することになっているから職員に責任がある」「ただでさえ休みが少ないので……」などの意見がでて、分会員の思いが高まっているところで

また、同じ法人のけやきの木分会とも統一した要求として提出したものです。この要求に対する思いを合同分会の中で率直に出し合って、回交にむけた討議ができるといいな、と思っています。

保育協の幹事会の中でも、私たちの要求に対して「うちの園も同じ。せむがんばつて欲しい!」と応援されたといつて、若い分会員が自分たちの要求に確信をもらって、分会で報告してくれました。

十数年前に比べて園児が増えたことで、日常の事務時間では保育準備がやりきれない現状が、仕事へのしんどさにつながっていることが昨年の秋闘期の分会討論で出されました。いま、どこの保育園でも、本当に自分たちの働き方の整理・見直しが課

題になっていると思います。

保育の仕事が好きだから、働き続けるために、分会で、あるいは法人全体で働き方について具体的に働きやすい職場を目指していきたいです。

執行委員 林 拓己



そよ風分会

春は別れの季節。そよ風分会は異動や退職があり数名が組合を離れてしまいました。同時に春は出会いの季節。新入職員や異動してきた職員がいます。

そよ風分会では新入職員に組合のことを知ってもらおうと「組合を知る会」で組合の活動を説明したり、休憩時間の合間を見て声をかけたりしています。

それぞれの組合員が力を発揮しながら、仕事だけでなく、外の活動(運動)にも目を向け、福祉の拡充が私たちの仕事・生活の充実につながることを。労働の矛盾を運営側に伝えていくこと。仕事のことだけでなく、楽しい

ことを提案し仲間と共に発散することなど。組合での活動の大切さや仲間と一緒に活動することのすばらしさを話しました。異動してきた職員を含め、数名が組合に加入しました。飲みにいったり、楽しいこと(今年は野球観戦の声が…)を計画したりしながら、交流を深めていきたいと思っています。

そよ風分会の組合加入率は、70%です。未加入の職員は仕事や家庭のことが忙しいのが現状です。未加入の職員には団体交渉の資料や実現させる会(地域療育センター早期建設を実現させる会)の活動内容を伝えたりしながら、組合があることの良さを周りに広めながら、活動をしていきたいです。

執行委員 田部井 星一

～学習会のお知らせ～

職場巡視を終えて

「産業医からみた福祉職場」

講師 太田 充彦先生

6月19日 19時から 労働会館本館

組合学校 7月11日・12日開催です!

支部のとりくみ

この間支部交流会では、各支部での新歓の取り組みや、率直な悩みなどを交流をしてみました。

そして、支部同士の交流・協力体制を整えながら「地域に責任を持つのは支部」ということを確認してきました。

中・中村・東支部

中・中村・東支部では様々な取り組みやたくさんの方の声を掛けをしてきました。各分会の取り組みとして新人職員はもちろんのこと、パートさんにも声を掛け

ていき一緒に働く仲間として困っていることや悩みなどを聞いて共感していくことを大切にしています。また新人職員に声掛けをするにあたって、知らない単語が飛び交う会議から参加してもらうのではなく、最初にストレッチ体操や労働姿勢についての交流会を開いて、まずは気軽に参加しやすい環境づくりを大切にしてみました。その後「一緒に働く仲間の大切さ!」「組合とは?」ということ伝えることができました。

また前年度から仲間拡大に向けて中村区にある未組織の障害者福祉施設の職員の方たちと懇談して、その後の支部交流企画のストレッチ体操にも参加して

下さり楽しんでもらうことができました。2月には施設を訪問して働く現場を見学させて頂いたり、お互いの労働条件について交流し合い関係ができて始めていくところ。まだ支部への加入には至っていませんが、今年度からは保育分野だけではなく、福祉分野にも目を向けて月刊誌「福祉のひろば」の学習会を支部会議で行っています。福祉の情勢、福祉現場で起こっていることを私達がまず知り学んでいくことで一緒に共感することができ、仲間として感じてもらえるのではないかと思い取り組んでいきます。まずは相手を知ること、そして自分たちの思いや悩みを話すことで信頼関係

「シリーズ・私のおすすめ」 「老化防止のエッセンス」 かやの木分会 三宅はなみ

趣味も特技もない私にこの依頼が来て、何を書こうかと悩んで困っていました。散々悩んだあげく、韓流ドラマについて書くことにしました。

臨時で下す保育士の中に韓流通の人が二人いて、一人は「ジョン・ファン」、もう一人が「イ・ジョンファン」なんですよ。そんな影響もあって、私も興味を持ちたんですが、彼女の「ジョンファン」は井ノ木元菜さんという方もいる、しかも中途半端なファンです。だから「ジョンファン」情報は彼女たちから聞かなくていいです。4年前、東京で「ジョンファン」が来たときは観に行きたかったです。その「ジョンファン」は観に行きませんでした。そんな仲間と韓流映画を観に行き

ランチして、帰りにおさまりの喫茶店でケーキセットをいただきながら、観てきた映画や韓国の俳優について話したり、教えてもらいたいものが楽しみなんです。

「ジョンファン」の作品としては「美しい日々」「オールイン」「バンシーシヤンプ」が代表的。最近では「甘い人生」「夏物語り」などです。韓国ソウル市九老洞にある、地下5階地上4階建ての「アパート型大規模アパートメントビル」「9th Avenue」。その一階に「BH&C」は「ジョンファン」がプロデュースした初のセレクトショップで、4月3日オープン!! 楽しみです。

日本からも多数のファンが駆けつけているようです。その他、今年公開の映画や韓国で放映予定のドラマなどは是非みなさんもご覧ください。この文を読んで、主人曰く「これじゃ、ジョンファン」の宣伝やせいでいいぞ!!

を築き、素敵な仲間が増えることを期待しています。

中・中村・東支部 支部長

柳原 幸典



昭・天・瑞支部



昭和瑞穂天白支部では、4月23日(木)にわらべうたの学習会を、浅井富美子さんを講師に迎えて行いました。参加者は23名で、そのうち4人が新人でした。子どもと一緒に楽しめる歌をいっぱい教えてもらいました。先生からは、「うちんくんと」という子どもの名前を呼ぶことの大切さや、わらべうたを通して感じてきた子どものかわいらしさなども話されていました。昨年6月にわらべうたの学習会を行い、昨年参加した参加者からは、「教わったわらべうた

支部では毎年5月に新入組員歓迎会を行っています。今年は、5月28日(木)にゆげえ保育園で行います。ご飯を食べながら、各分会から手遊びを一つ披露してもらい、楽しくゲームもして交流します。イキイキと働き続けられることがなによりも大切なので、保育の技も学びながら組合のことも知って行ってもらえればと思っています。

昭和瑞穂天白支部には、小規模保育所が多いこともあって分会員数は多いですが、保育園の分会しかありません。新しい組合も20年以上できていません。昨年度は、福祉職場にも組合が広げられるといいなと思い、支部内の福祉職場に案内の手紙を送り、映画「夜明け前の子どもたち」の学習会を行いました。残念ながら、未組織からの参加はありませんでしたが、地域に組合を知らせる一歩になったと思います。今年度も、保育園場に組合を広げていくこともそうですが、福祉職場を対象にした取り組みもできないか考えているところです。

昭・天・瑞支部 支部長

堀池育志



こんにちは! 福祉保育労働地本青年部です

青年部とは、福保労に加入している35歳以下の組合員を主な対象に、学習や楽しい交流などの企画を通して、「生き生きと働き続けていこう」「組合のことを知っていこう」と活動をしているところです。

毎月第1月曜日を基本に、青年部委員会という名称で企画を行っています。どなたでも参加できる会なので職場にfaxされてくるチラシを参考にぜひ参加してみてくださいね。

福保労は全国組織ですので、青年部も全国に仲間がいて、全国青年部も2年前に結成をしました。結成前の準備会から、「**なつわか。**」という全国の青年との学習交流集会を2年に一度開催しています。福祉の分野で働く同世代の仲間と共に学習をして、交流で元気になれる会です。

その「**なつわか。**」が今年は東海で開催されることになりました。青年部事務局では、実行委員会形式で企画・運営を予定しています。地元開催ですので、多くの青年と一緒に会を作っていき、厳しい情勢の中ですが元気に働き続けられるための学習や、ホッとできる交流を企画したいと思います。

第1回目の実行委員会は5/2.5です!
随時実行委員を募集しています!

臨パ部会総会

昨年(4月)に総会を変更し、今年も4月22日(水)に第6回臨職・パート部会総会が行われました。予定時刻よりややゆっくりにめの開始となりましたが、それまでの雑談の中でも、すでに分会交流が始まっていて、自分たちの働き方について盛り上がりがありました。

今回の総会は、正規から短時間パートの人まで参加し、記念講演には副委員長の服部公一さんを迎え、「臨職・パートの権利と組織拡大」について、学習・交流しました。

講演は、事前に強い要望もあり、服部さんの自己紹介から始まり、和やかな雰囲気の中進ん

で行きました。

情勢を踏まえたうえで、保育職場だけではなく、介護・福祉職場の現状、そして、私たちに「どのような権利があるのか、さらに組合とは?」まで幅広く学習しました。

「何をしてくれるのか」ではなく、「何をしたいのか」そして、「愚痴」は「要求の始まり」である。臨パ部会もそのような話せる場であるために、今年度の臨パ部会を定例化して、続けていくことを大切にしたいと思

います。そのために、メールングリストなども活用し、仲間を増やし、新しい出会いに喜びを感じながら、元気に活動していけたらと思っています。

東市民病院 ぼっぱ保育所の状況

ご存知のように、名古屋市中立東部医療センター東市民病院の院内保育所(ぼっぱ保育所)は今年度より株式会社(以下、会社)に運営委託されました。企業の運営となることで保育所職員も

親も漠然とした不安を抱えつつの新年度スタートとなっています。委託先決定は3月6日。その後3週間程度しか準備期間がなく、業務の引継ぎもほとんどないまま4月1日を迎えました。

会社としてもまずはスムーズな導入をしていきたいようで、これまでは強引な保育内容の変

化はありません。病院局もこれまでの保育を継承することを会社側に求めているようで、そのことも保育内容の維持について大きな要因になっていると思います。また、退職を選択した職員も『引継ぎのため』として4月いっぱいまでは職場に出てきてくれることになり、新しい職員へのこれまでもおこなってきた保育の引継ぎや、会社からの新たな事務業務の引継ぎに時間をとることもできました。そのおかげで4月中は大きな混乱もなく保育がおこなわれています。

職員の労働条件としては、従来の保育士(1名)については年収が8割に。新しく採用された保育士(これまで他の保育所で経験を積んできた保育士)の基本給も17万円台と、人件費については名古屋の認可保育園と

比べると低く抑えられています。ボーナスも会社の業績しだいであったとしても5ヶ月。退職金制度もありません。専門職として長く働き続けるための条件にないのではないかと感じています。今後、どのように会社側に労働条件の改善を求めていくか、やり方を含めて検討していきたいと思っています。

5月からは新しい運営の職員のみでの保育がスタートします。24時間保育(最大週2回)も始まり、6月からは病後児保育も始まる予定です。今までの職員とのサポートがない中での保育に大きな不安もありますが、これまでおこなってきた保育に確信をもちながら、子どもたちの保育を守っていききたいと思っています。

増村潔

【編集後記】

4月26日に行われた、名古屋市長選挙。残念なことに、私たちが応援していた太田さんは、落選してしまいましたね。

みなさん選挙には行かれましたか? 私たちの声が反映される大事な1票です。今回行った人もそうでない人も、次回もぜひ選挙に行きましょう。

市長選の最中、4月19日に行われた栄三越前での行動には、多くの方たちの熱い応援に勢いを感じました。あの栄でのみんなで行った行動から、名古屋をよくしたい、保育、福祉をよく

したいという熱い思いを今後も、国・県・市などに訴えていきましようね。

話はかわりますが、今、世界的に新型インフルエンザが流行っていますね。新年度を迎えて、徐々に疲れが出てくる頃。実際私も、のどがはれて、せきがとまらなくて、と大変な思いをしました。身体が元気でないといいけませんね。手洗いうがいをしっかりやって、仕事にも情勢の運動にもがんばっていききたいなと思います。ときどき息抜きをしながら。

(久)